



No.3

トマト黄化葉巻病の媒介昆虫 タバココナジラミに対する防除 体系の構築



令和7年度第2回石巻地域普及活動検討会

1

目次

- 01 検討課題概要について
- 02 課題の背景
- 03 目標（定性的、定量的目標）
- 04 活動内容
- 05 活動の成果
- 06 今後の進め方

2

対 象：管内トマト生産者5人
(JAいしのまきで共販している
生産者)

計画期間： 令和7～8年度

チーム員： ◎本多興、佐藤敏昭
佐野佑真、山口義昭、國嶋広達



3

課題の背景



▲ 図1
日本国内でバイオタイプQの発生が
報告された地域
(濃色部・2007年7月現在)
(本多健一郎氏提供：
第7回ウイルス病防除研究会セミナー2007)

トマト黄化葉巻病とは

- ・ トマト黄化葉巻ウイルスが原因の病気
(Tomato yellow leaf curl virus, TYLCV)
- ・ 海外から侵入した病害
- ・ 平成8年(1996)に静岡、愛知、長崎で初発生確認
- ・ 侵入後、全国に被害が拡大
- ・ 宮城県では令和4年(2022)に初発生確認
- ・ 令和5年(2023) 県内各地で被害発生

TYLCVによる被害

早期落花により、収穫が困難になる

4

2

02

課題の背景

課題設定の背景

- ・ 令和5年度にトマト黄化葉巻病が初めて発生
- ・ 出荷量減の被害を受ける
- ・ 新たなウイルス媒介害虫への対応となるため防除に対する認識・意識と実践に地域内でばらつきがある

従来型



新型

5

02

課題の背景

活動の必要性

石巻地域でのタバココナジラミ発生傾向と他県や国が推奨する対策への取組状況について把握と検討が必要



設定した方向性

- 石巻地域でのタバココナジラミ防除体系の構築
- 防除体系の普及によるタバココナジラミと黄化葉巻病の発生抑制(病害の克服)

6

他県や国の試験研究機関が推奨するタバココナジラミ対策

＜農薬散布に加えて実施すべき対策＞

	対策の種類	導入のハードル	石巻地域での普及状況
1	目の細かい防虫ネット 0.4ミリ目合い	夏季にハウス内が高温になり着果に悪影響	未実施
2	天敵昆虫 タバコカスミカメ	コストが高い	未実施
3	黄色粘着テープ	コストがかかる	一部
4	捕虫器	コストがかかる	一部
5	夏季にハウスを閉め切っ ての高温処理	天候や植え替えスケジュールに左右される	一部

7

1 目の細かい防虫ネット

•0.4ミリ目合い防虫ネット

左：ネットあり

右：ネットなし



8

2 天敵昆虫タバコカスミカメ

- コナジラミ類とアザミウマ類を捕食する天敵製剤

写真出典：アグリセクト社HP 費用：200株あたり5,000円程度



タバコカスミカメ

9

3 黄色粘着テープ

- うねの上部に展張する黄色粘着テープ

写真出典：(株)SDSバ イテックHP 費用：15m×20巻38,000円程度



10

4 捕虫器

- 捕虫器（スマートキャッチャー）

写真出典：(株)セイコーステラHP 費用：10a2台設置で28,000円程度



11

03
目
標

1 定性的目標

- ・トマト黄化葉巻病及びウイルスを媒介する
タバココナジラミに関する生態や防除技術の理解が進む

2 定量的目標

- ・生産者による石巻地域の防除体系の策定
策定数

現状R6 → 1年目R7 → 2年目R8
0 0 1

12

活動内容 1 病害虫発生状況の把握と対象者の意識醸成



黄色粘着版を設置（交換）



2週間後に付着数を計測



タバココナジラミ調査

粘着版の計測に合わせてその畝の20株を観察して生息数を計測



活動内容 2 効果的な防除手段の検討



防虫ネットを張り天敵を使用するハウス（左）



使用している天敵タバコカスミカメ（出典：農文協）

活動内容 3

共販している生産者への情報共有



1月 抑制裁培を振り返りマニュアルを検討する情報交換会

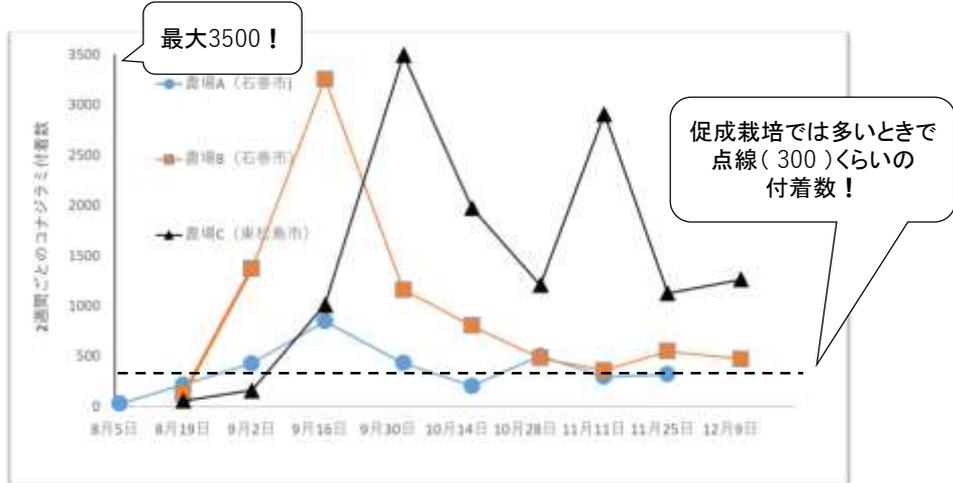


共販生産者向け情報共有チラシ（10月発行）

共販生産者と共有した調査結果 1

ハウス外からの飛込開始時期
農薬主体での対策は限界あり

定点調査ハウスでのコナジラク類発生状況（黄色粘着板への2週間ごとの付着数）



共販生産者と共有した調査結果 2

防虫ネットと天敵の効果

1週間ごとに黄色粘着版に付着したコナジラミ類の個体数（月日は抜粋）

	0.4mmネット +天敵のハウス	0.4mmネット のハウス	対象区 ネットなしハウス
	殺虫剤散布無し	殺虫剤を散布	殺虫剤を散布
7月2日	4	6	23
7月16日	0	12	28
8月15日	27	212	584
9月12日	57	243	1792
10aコスト試算 (1年あたり)	天敵60,000 防虫ネット12,000	防虫ネット12,000 通常殺虫剤代	通常殺虫剤代

共販生産者と共有した調査結果 3

高温による着果率の低下

石巻普及センター調査先ハウス（鉄骨ハウス、防虫ネット無し）での
2025年抑制栽培における大玉トマトの着果率

	花数 (個)	着果数 (個)	着果率 (%)	開花時期 (推定)	収穫時期 (推定)
1段目 (第1花房)	4.6	3.2	69.6	8月上旬	9月後半
2段目 (第2花房)	4.8	3.0	62.5	8月後半	10月前半
3段目 (第3花房)	3.6	1.7	47.2	8月後半	
4段目 (第4花房)	5.1	1.9	37.3	9月前半	10月後半
5段目 (第5花房)	4.5	2.3	51.1	9月前半	11月前半
6段目 (第6花房)	5.0	2.8	56.0	9月後半	11月後半

マニュアル作成準備活動 石巻地域で推奨する対策の候補について
対象者と意見交換を開始

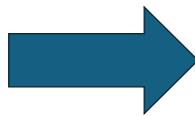
全共販生産者で必須とする対策の候補（熊本県 JAたまな（玉名）の対策をベースに検討）

番号	対策名称	石巻地域での取組の現状	石巻地域マニュアルでの推奨有無の案
1	ハウスのサイド、天窗、入口への0.4ミリ目合い防虫ネットの展張	未	要検討
2	殺虫剤のローテーション散布	○	推奨
3	すみかとなるハウス内外の除草	要徹底	推奨
4	うねへの粘着シート（ITシート）設置	○	推奨
5	収穫終了後に密閉処理しハウス内で死滅させる	要徹底	推奨
6	地域全体でトマト休作期間をつくりウイルス保毒虫を減らす	未	見送り
7	JAや行政の広報誌で周知し、家庭菜園愛好者にも注意喚起	R8に初実施	推奨

地域ぐるみ啓発活動の準備

- ・ R8での家庭菜園愛好者向け啓発広報実施が内定

右のような記事を
石巻市、東松島市の
広報誌に掲載



茨城県で実際に地域住民に
配布された啓発チラシ



1 病害虫発生状況の把握と防除意識向上

抑制栽培におけるコナジラミ類発生状況調査を継続し、発生傾向を把握

2 防除対策の導入支援・防除マニュアル作成

- ・マニュアル内容に関する意見交換、マニュアル本体作成・配布（令和9年2月を予定）
- ・2農場で0.4ミリ目合い防虫ネット+天敵を試行
実施経過と防除効果について情報共有



3 地域への情報提供

- ・完成後に各地区の出荷反省会で石巻地域版マニュアルを紹介し活用を促進
- ・家庭菜園愛好者向け対策啓発記事を石巻、松島両市の広報誌に掲載
- ・引き続きタバココナジラミ発生情報をJAを經由しトマト共販生産者へ情報提供